

草木花實寫真畵譜

川原慶賀筆

四

特別
= 14
1046
4



門 二多14
1046
卷 4



三月白花咲
花葉トモニ
銀ノ光アリ

葉ウラ薄クサシ
ギンデイ。ヒキ

胡顔子一種

グミ

卷下

三四月黄花
 三月開ク山谷
 ノ間ニ生ス
 羊其花ヲ食
 へバ則死ス
 植ユルニハ
 忍テ防グベ
 雪チ種山
 シ一防グベ
 躑ト云者ア
 リ三月花チ
 開ク淡紅色
 ナリ又一種
 紅躑躅ト云
 者アリ山谷
 ノ間ニ遍ク
 生ス三月花
 チ開ク深紅
 色ナリ此外
 種類多シ

羊躑躅



キコルト朱ノキメクニ
 肉ウスク朱ノクニドリ

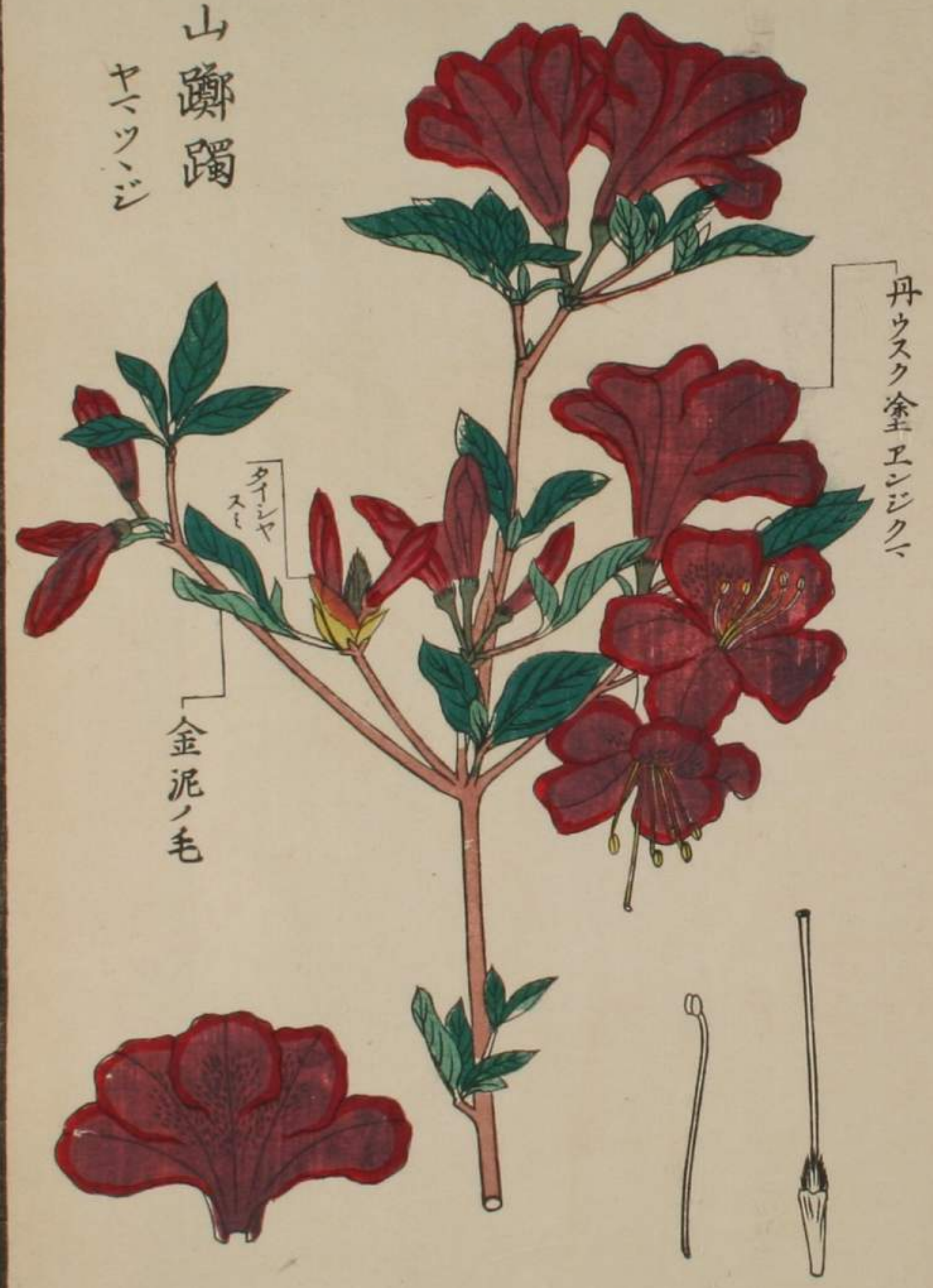
クサノシル。エンクニ
 タイシヤスミ
 スミノクニ



主治 温瘧 惡毒ノ諸
 痺 邪氣 毒ヲ治ス

アキ一ノア ヲ小ホカ
Azalea indica.

山躑躅
 ヤマツツジ



丹ウスク塗エンジクニ

金泥ノ毛

卷下

一七

花後生葉

二月黄花ヲ開ク

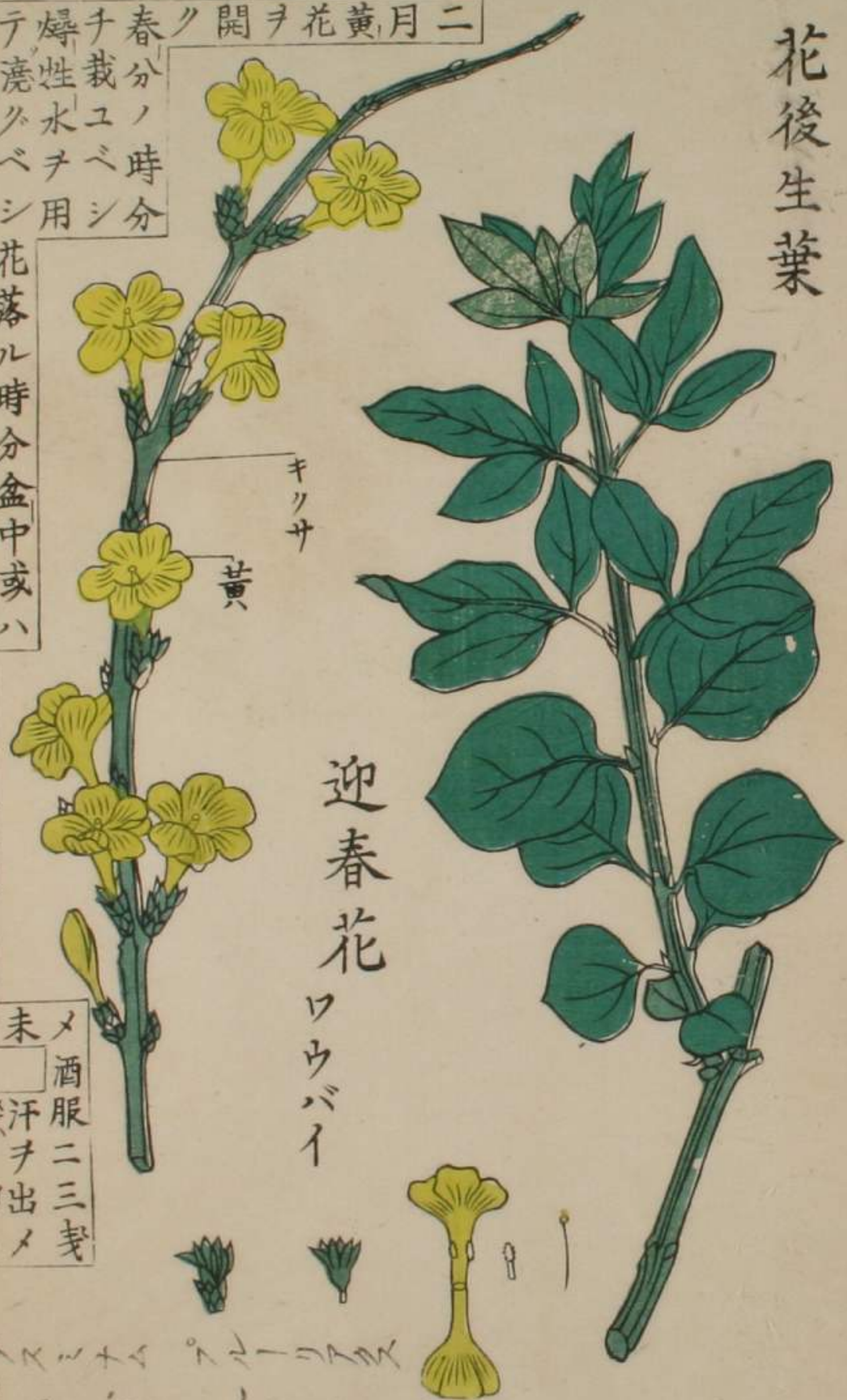
春分ノ時分
チ裁ユミシ
燻性水ヲ用
テ澆クベシ
巖石上肥土ニ

花落ル時分
テヨシ
主

治腫毒惡瘡ニ陰乾シ研

未酒服二三匙
便汗ヲ出メ

Gasminum prostrax.



迎春花
ワウバイ

キクサ
黄

卷下

紅躑躅

ベニツクジ

花朱
エシジクム



枝葉トモニ小毛アリ

一ナ



ハ肥内ゴフニウス生エニシクマ
生エニシ内同エニシクマ

卷下

七

辛夷花

コブシ



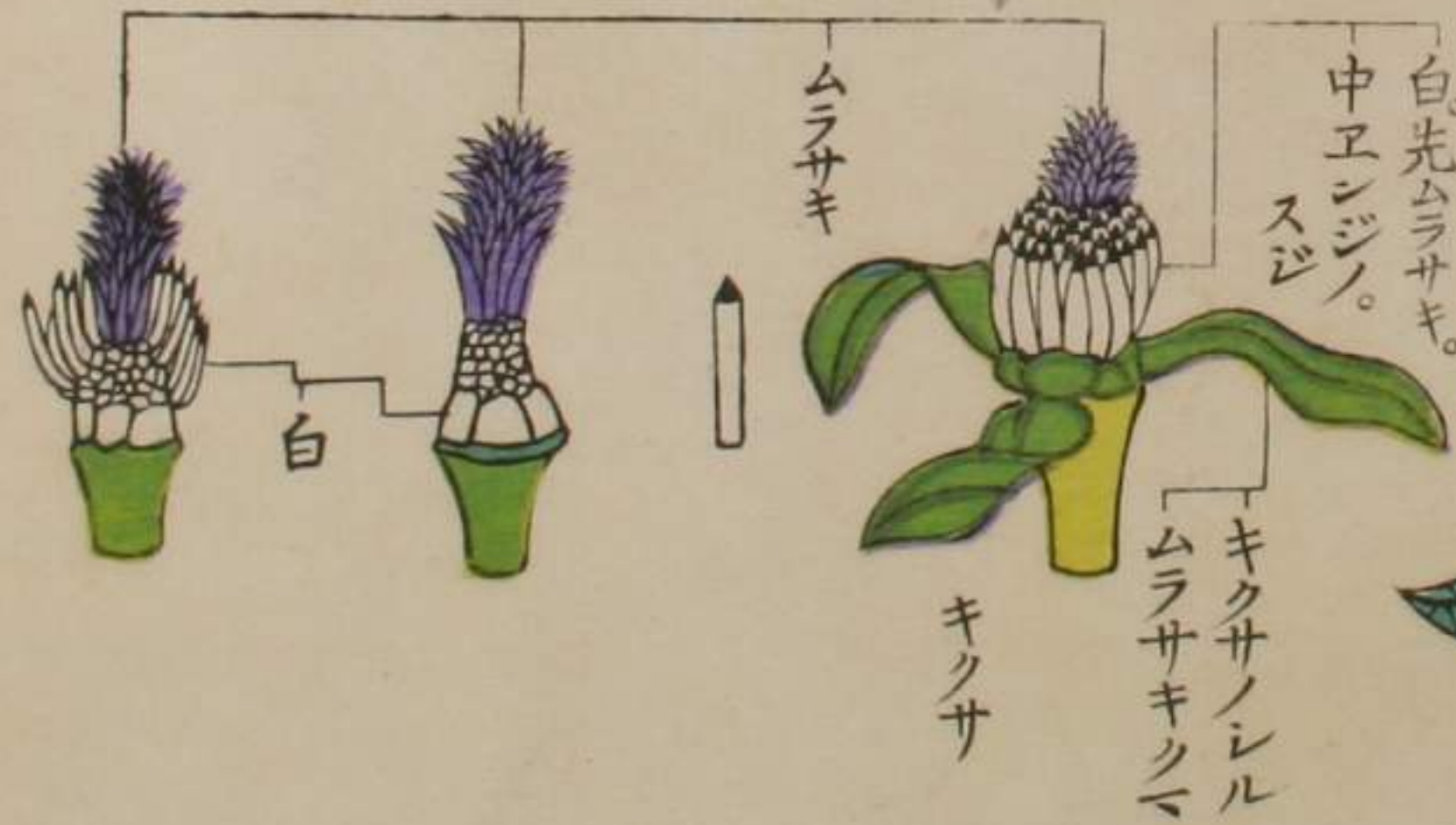
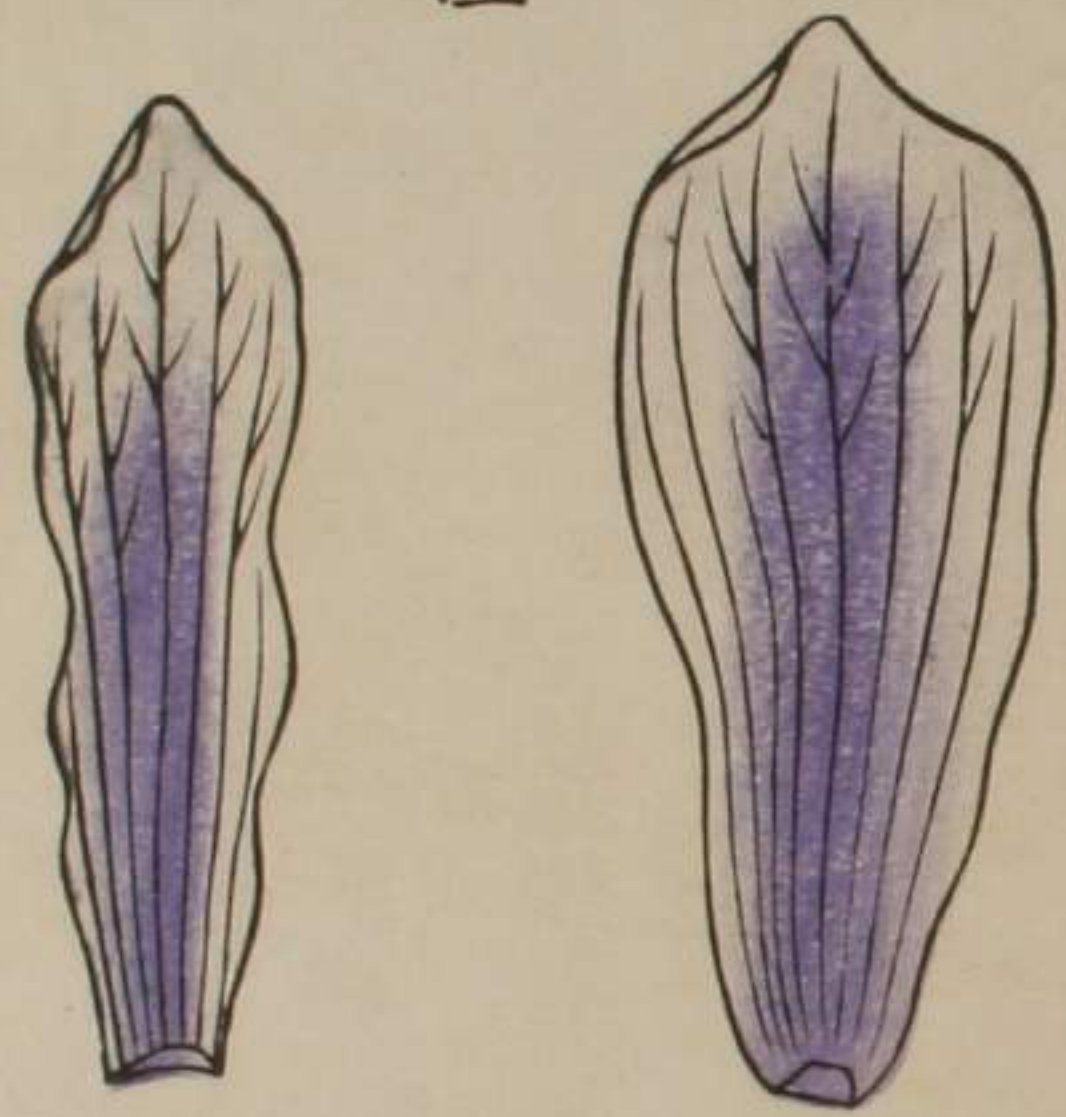
三月花ヲ開ク外ハ紅紫ニメ内ハ白シ花落テヨリ葉
出ツ多ク糞水ヲ澆ケバ花大ニシテ香氣甚シ一
葉俱ニ出ル者アリ外ハ濃紫ニシテ内白シ底ヨリ
紫色ヲ帯フ主治頭腦ノ痛ヲ治シ氣ヲ下シ身ヲ輕ク
シ目ヲ明カニシ鬚髮ヲ生ジ白髪ヲ去ル

マギノイロク
Magnolia glauca.

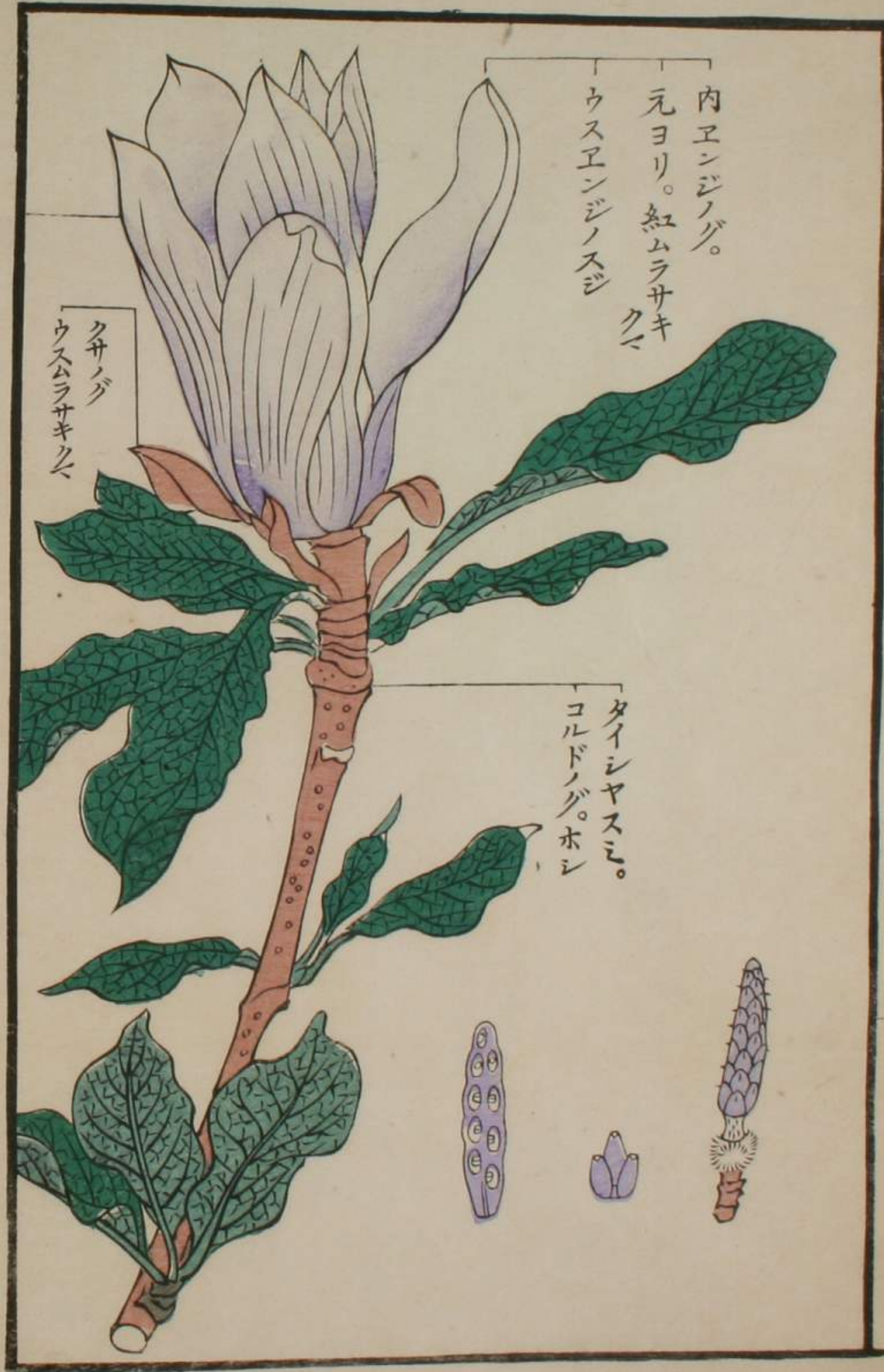
ナ

辛夷一種

元ヨリスミク。ムラサキノグ。塗
同ムラサキノク。同スジ



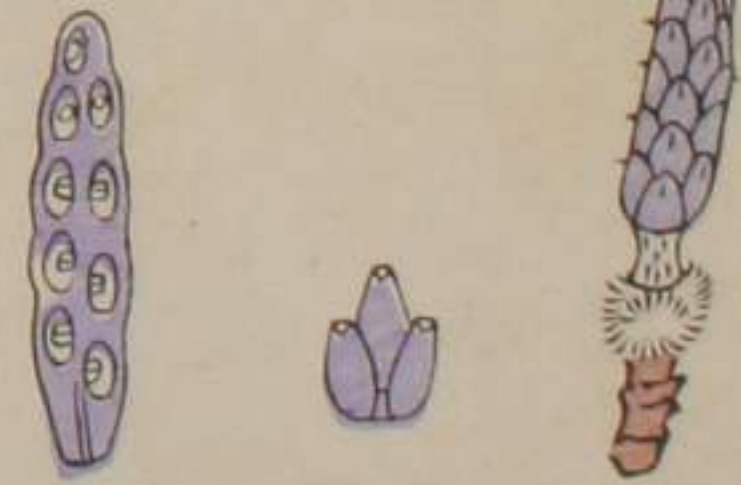
白。先ムラサキ。
中エンジノ。
スジ
キクサノレル
ムラサキクミ
キクサ



内エンジノグ。
元ヨリ。紅ムラサキクミ
ウスエンジノスジ

クサノグ
ウスムラサキクミ

タイシヤスミ。
コルドノグ。ホシ





木蘭葉

Magnolia

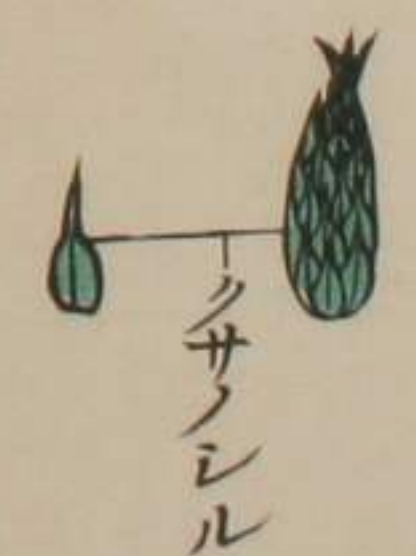
木蘭
モクレンゲ

三月白花ヲ開ク花
 落テヨリ葉出ツ多
 ク糞水ヲ澆ケバ花
 大ニメ香氣甚シ水
 氣ヲ忌ム秋ノ末ニ
 採テヨシ

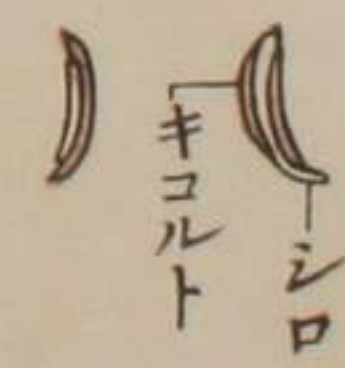


主治目ヲ明
 カニシ水腫
 ヲ療シ臭氣
 ヲ去リ小便
 ナリス

タイシヤスミ



クサノシロ



キコルト
シロ

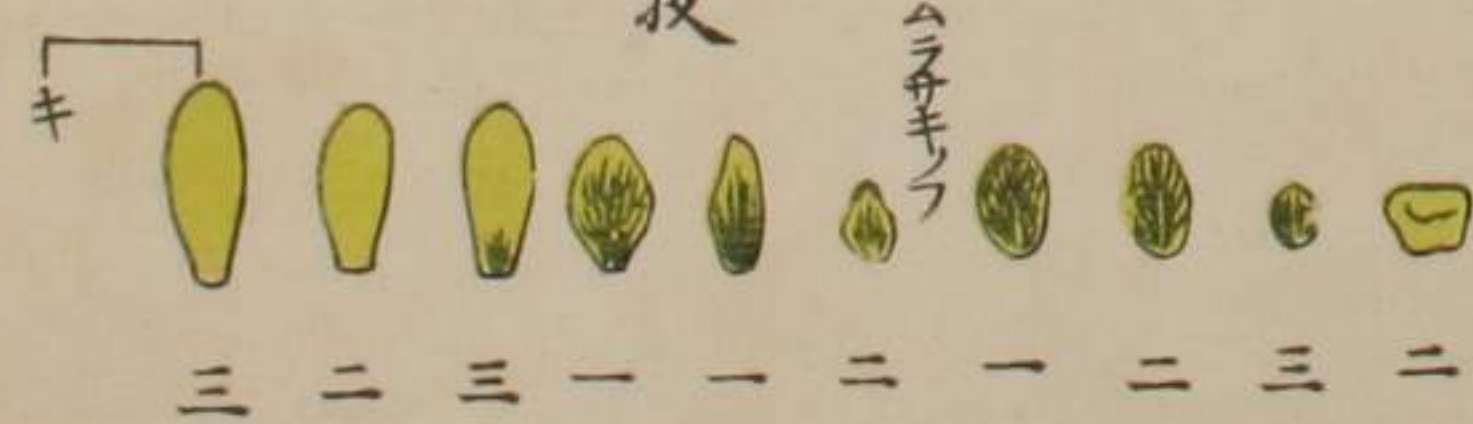
Calycanthus pracioux.

蠟梅葉



葩數二十枚

主治 暑ヲ解シ津液ヲ生ス



卷下

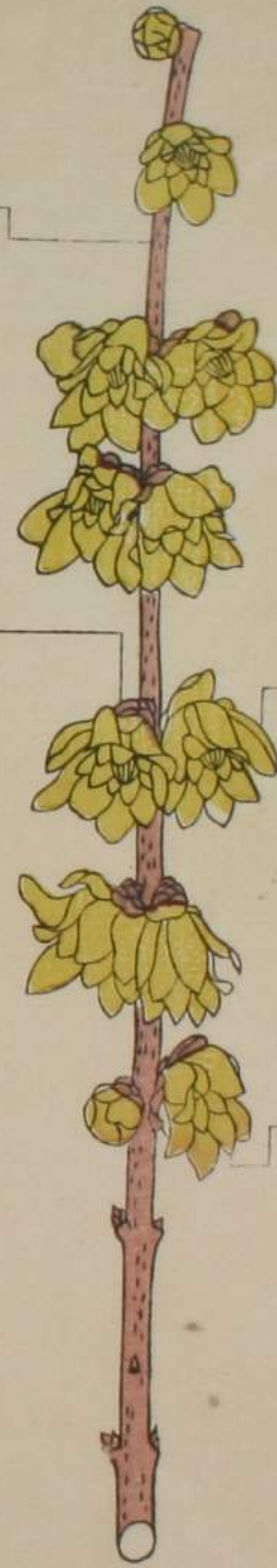
七〇

季冬黄花ヲ開ク花落テヨリ葉出ツ実ハ鈴ノ垂ル、カ如シ夏熟スルヲ採テ水ニ沈ム者ヲ植ユ過枝ニヨシ接換ニ宜シカラズ

蠟梅

ナシキンムメ

黄貝塗
シワウノクム



キコルト

ワウト
タイシヤスミク

ムラサキノフ

黄玉

タイシヤスミ

キ

ナ三

五六月
白花
開ク
土宜
シ
冬
マ
春
人
ア
泥
澆
シ
竹
ト
ア
リ



蜀椒
サンセウ

主治
腹内冷痛ヲ治シ
痛ヲ除キ血ヲ益シ宿食
ヲ消シ泄瀉ヲ止ム

卷下

七五

Pyrus spectabilis.

海棠



主治
洩痢ヲ治ス

三月花ヲ開ク紅白色相交ル春分前ニ
城接ニメヨシ林檎ヲ接ベシ濕氣ヲ忌
ム冬腐レタル人糞ヲ澆クベシ

九四

竹葉椒

五六月卷





エンラ。エンジク

ユルドスミ

吳茱萸



夏白花ヲ開ク
木ノ高サ丈餘
枝柔カニメ肥
タリ葉長フメ
皺アリ実ヲ結
テ核ナシ

主治風邪ヲ逐ヒ寒熱ヲ
開キ痰冷ヲ去リ霍乱ヲ
瀉ヲ治ス

花ウスゴフシ
クサノシユク

キクキ
シサノ汁

天仙果
イヌビワ

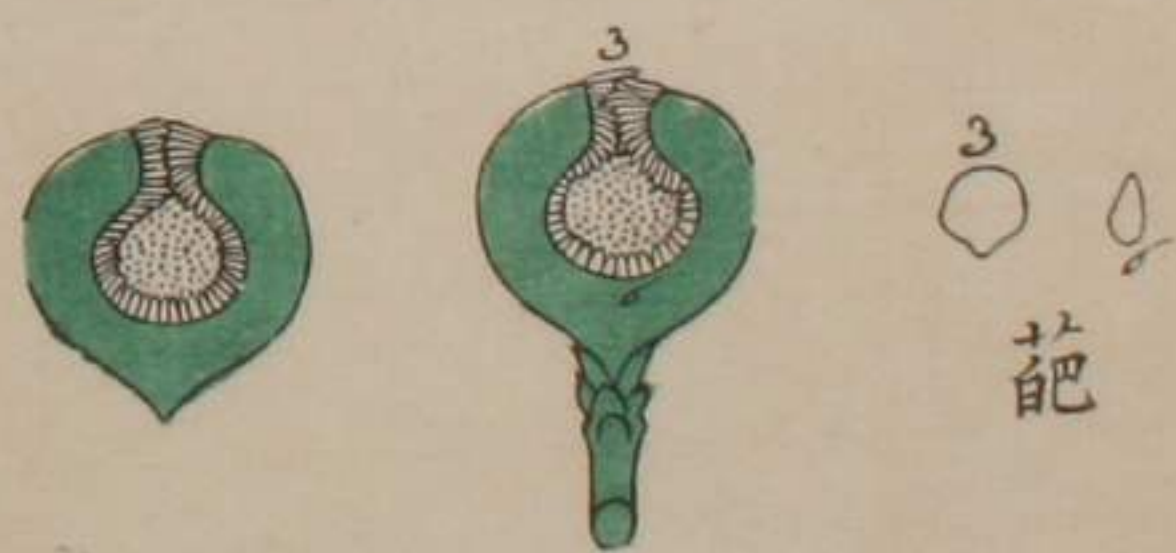
無花果ニメ果中ニ花ヲ開
ク三四月ニ実ヲ結フ累々
トメ枝間ニ綴ス六七月ニ
熟ス味至テ甘シ
主治五痔腫痛ニ煎湯ニメ
之ヲ洗フベシ



卷下



果中花之圖



七

無蒼果 トウカキ
イチヂク

夏実ヲ 結フ寒 中人糞 中ノ澆グ へシ季 春技ヲ 切テ地 二挿シ 水ヲ灌 テ後人 糞ヲ澆 ぐバ実 ヲ結フ 了甚ダ 大ナリ



Fig-tree



主治胃ヲ開キ 痰ヲ止メ 五痔咽 喉痛ヲ治ス

草部

由跋

先輩ムサシアブミノ類ニテ不詳ト云説ナレト慥ナル證據アレハ尤可然ナリサレト圖中ニムサシアブミ大半夏ノニツヲ混シ拳ラレタルハイカ、一類ノモノナレトムサシアブミト大半夏トハ別品ナリ

忍土

此土イカナル土カ定メラ長崎邊ノ方言ナルベシ覚悟スベキ了也

牛扁

是亦先輩伶人サウニ充ツケンノシヤウコハ鬪牛兎苗ニ充テ来ルナリ

龍膽草

サ、リントウト申了イカ、リントウハ竜胆ノ字音リウ

タシノントウト音便ニヨリ倒ニ成タルナリ此類オホシ冷泉イ
定考ヲカウキウ
トヨム類ナリヨリテリントウト云ベキナリ古名ハエヤシク
 サト申也サ、リントウト云了衣侘ノ紋ニ附タルヨリト
 名ナルベシ今ノ家ノ紋ニ用ユルサ、リントウトハ其实ハ桐ノ
 花ト竹ノ葉トヲ合セ付タル故正シク筵ノ姿ナレバシバラ
 シ筵リントウト云モノナリ其实ハ竹ト桐トノ畧シ合セ
 タル紋ナリ龍胆トハ遙ニ違フモノ也又石竜膽ハ山龍胆ト
 云ハルリントウト云モノ也コケリントウトノ名未聞方言歟
 覆イ
チゴ盒子 普通ノイチコハ苺ナリ覆盒子ハトウイユコナリ此種
 享保中船來ス和名抄ノ頃ニハ真ノ覆盒子ヲ不知ヨリテ

イチゴヲ覆盒子ニメ充ツサレ正圖中ヲ見レハ正シク今ノ
 覆盒子ノ圖ナレハ矢張トウイチゴトナクテハ圖ト抵格スル
 モノナリ又クサイイチゴハ漢名蓬菓ナリ
 鶉カ
ト額 カフトクサト云了未聞如何
 土シヤ
モツ青木香 青木香ハ馬兜鈴ノ根ノ名ナリ苗ハ馬兜鈴ニテム
 ノス、クサナリ故ニ此所ニ奉ンニハ馬兜鈴トメ側ニムメノス、
 クサト假字ヲツケ根ヲ青木香ト云ト有タキナリ且土青
 木香ト云了ハ木香ノ下品ヲ云了也國中ニモ遠アル
正再矣スヘシ
 剪ガ
ン春羅 カンヒハ剪夏羅ナリ剪春羅ハマツモト也

木部

木瓜

クサモケト云モノ有ユエ俗通トウモケトスルカタ可
然欵圖モ今ノ藥用ニスル木瓜ニテトウモケ也又白
花ノモノ有ルヨシ京師ニテハナシ

紫荆花

紅花ヲ開クトアレ氏紅ニハナシ深紅花トカ淡紫
卷トカナクテハ紫荆荅ノ色ニ叶ヒカタシ

梓

梓ハアツサニテ俗ニ云アカメカシハ也キサケ又カワ
ラヒサキト云モノハ梓トハ一類ナレ氏別品ナリ又条下ニ秋
ノ末莢ヲ結フト云々又圖ノ様モ全楸ナリシカレハ梓ヲ楸
ニ改テ右ニヒサキ左ニキサケトスハシサナクテハ國ト抵
摺スルナリ

胡頹子

此条下ニ一種々トアルハ夏グミト云漢名木半夏也

羊躑躅

羊躑躅ハキツ、ジ也レンゲツ、ジハ其類ナレ氏別ヲナリ

モ千ツ、シバ紫躑躅ノ類也山躑躅ハ御説ノコトク山ツ、
シト云モノニテキリシマツ、ジハ又其類ナリ汝南國史ニ石
巖ト云モノ是ナリ紅躑躅ト云モノ別ニナシ是モ山躑躅
ナリ紫躑躅ハ三葉ツ、ジト云モノ也羊躑躅ヲ和名抄ニモ千
ツ、ジトアレ氏圖ハ今云キツ、ジナリ

木蘭

三月白花ヲ開ク云々玉蘭ナリ木蘭ハ紫花ノモノ也

蜀椒

蜀椒ヲ和名椒ニナルハシカミト有又サニセウトアラハ秦
椒トアリタキ也蜀椒ハ今ノ朝倉山椒ナリ

合歡花子ハハナカウカハナ

白蒼ノモノ未見聞

○此一奉予ニ於テモカク思フ丁成トモ未素懐ヲ遂ケスヨクモ催シ玉フ丁感歎少カラズ今度井上永久カ需ニ應メ臆見ヲ記ス丁憚多シトイヘ凡其需切ナレハ辞スル丁ヲ得ス漫ニ筆ヲ下スモノ也其中遠境ノ方言且事實齟齬スル丁ナキ一能ハス希クハ其差謬ヲ憐ニ示シ玉ヘ方言ノ違ヒ且石楠花本瓜ホハコトニ委ク教ヲ待モノ也

○假字ノ違ヒハ大抵正シタレ凡尚疎謬ヲ免レザル事アルベシ古來本草家國學ニ暗ク猥ナル假字ヲ用ヒ來レリ今國史萬葉集新撰字鏡本草和名和名類聚抄ホニ就テ校正

スルモノナリ

○和漢ノ名互ニ違フモノ有リ此分ハ粗辨別スシカレ凡圖ト和漢ノ名ト条下ノ形狀ニテハ筆ヲ加ヘ凡主治ニ至リテハ訂正ヲ加ヘス尚本草自余ノ書籍且管見ニヨリテ補ヒ正シ玉ヘ

大阪書肆

心齋橋筋南久寶寺町四丁目

前川善兵衛

卷下

十竹齋畫譜

唐紙摺帙入十六冊
白紙摺帙入八冊

草木
鳥獸諸職繪手本

三冊

紐約齋畫賸

帙入美本
白紙摺四冊

日本名山畵會

三冊

芥子園畫傳

中六帙唐紙摺廿三冊
本二帙白紙摺十二冊

同 山水奇觀

八冊

仿古畫譜

前後二帙六冊

真畫
真畵通神畫譜

一冊

費氏山水畫式

三冊

一老畫譜

一冊

毛詩品物畵考

三冊

草花繪手本

一冊

和漢
名筆畫本手鑑

六冊

公長畧畫

二冊

